

授業科目 課題研究 (修士 (社会福祉学) 実践課題コース)	科目概要・形式 2単位60時間(30コマ) 演習科目	配当年次 博士前期2年次 通年開講	オンライン参加 <input type="checkbox"/> ・不可
科目責任者	工藤 英明		
担当者	工藤 英明、児玉 寛子、瀧澤 透、高阪 悌雄、坂下 智恵、権 順浩、 田中 尚樹、小山宰		
1. 科目のねらい・目標			
<p>実践課題テーマに基づいた研究課題を設定し、学生が一連の研究計画の立案、研究プロセスを通して課題研究またはケース研究としての論文を作成する。</p> <p>①実践上の具体的な課題を解決に導くことができる。</p> <p>②課題解決のプロセスを論文として言語化できる。</p>			
2. 授業計画・内容			
<p>課題研究論文の作成指導は、社会福祉学特論Ⅰ～Ⅳと並行し、指導担当教員が担う。研究計画の立案、問いの設定、文献レビュー、調査方法、倫理審査、データ収集と分析方法、論文執筆と報告に至る一連の流れを指導する。指導に係る詳細については、指導担当教員の指示に従ってください。</p> <p>課題研究に係る工程は以下の通りである。</p> <p>①研究テーマの設定</p> <p>②研究計画書の審査</p> <p>③倫理審査申請</p> <p>④中間発表会</p> <p>⑤口頭試問</p> <p>⑥公開審査会</p>			
3. 教科書、参考書			
適宜、資料や参考図書は提示する。			
4. 成績評価方法			
課題研究論文、口頭試問、公開審査会により総合的に評価する。			
5. 受講要件			
・社会福祉学コース履修者に限る。			
6. 社会人学生に対する配慮			
受講者と相談した上で、夜間開講、土日開講、夏季集中講義などを検討する。詳細については指導担当教員の指示に従ってください。			
7. その他			
・オンデマンド開講はしない。 ・実践課題コースの者は必修です。			